

事業者向け 放課後等デイサービス評価表

2025年3月実施

回収6／配布:6 回収率100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫
環境・ 体制整備	1	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・フロアになるべく物を置かない。 ・外出プログラムを取り入れて、2グループに分かれる等の工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・グループ支援が主になるが、必要な時には個別対応の出来るスタッフ配置になっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・多目的トイレはあり、フロア全体がフラットである。 ・玄関も広い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・職員会議は常勤で行っている。 ・毎回、サービス開始の確認と振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・今年度も実施、これから分析予定。
	6	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・これから公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・未実施のため今後実施を検討。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・今後より多くの研修を実施予定。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・プロフィール票。 ・日頃と違うことが発生した場合記録をしている。 ・子ども面談や保護者面談などで、ニーズを聞く機会を増やしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・学校や相談支援事業所等の情報提供や、発達検査の結果を参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・日々打ち合わせをして、一人一人のお子さんのことを考えたプログラムを企画立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			・お子さんの活動の幅が広がるようなプログラムに工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・祝日・長期休暇の際は、平日ではできないプログラムを企画している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別と集団と自由を日々のプログラムに取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・スタートミーティングを毎日行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・振り返りをし、記録をとっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・業務日誌、サービス提供記録、実績記録を実施し、改善が必要なものは個別支援計画につなげていっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・五領域に添った支援計画を作成。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			・ガイドラインを基にして、毎年の事業計画を作成している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			・児童発達管理責任者が参加。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・保護者を中心に連絡調整を行っている。

事業者向け 放課後等デイサービス評価表

2025年3月実施

回収6／配布:6 回収率100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・保護者から主治医に相談してもらっているが、今後、医療機関との直接的な連携にも力を入れる。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・保護者を通して保育園等の支援計画等を見せていただき、支援の参考にしている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・該当者1人 ・今後、必要性があり同意があれば行っていきたい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・前年度より連携が増え、積極的に行っている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・今後、検討していきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		・子ども部会のワーキンググループに参加。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・サービス提供記録や連絡帳、電話で連絡を取り合い、送迎時や保護者のお迎えの際に共有している
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・わくわくの中での気づきや支援については共有するよう努める
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に契約書・重要事項説明書にて説明を行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があった場合には、時間を取って対応するようにしている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・今後実施していく方向性
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情受付書に沿って対応している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・祝日や長期休みの行事やプログラムの連絡体制等は事前に配布している。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・パソコンにパスワード設定。 ・書類・パソコンは、カギのかかるキャビネットに保管。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・障害のある子どもとは、絵や文章を使う等工夫している。 ・保護者とは、日々の連絡帳や電話・FAXでお互いに情報伝達をしている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・近隣の障害者施設と交流はしているが、地域に開かれた事業運営とまではなっていない。今後の課題である
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・マニュアルを策定し、職員間では共有・周知しているが、保護者にまではしていない ・今後、保護者へはマニュアルの配布をしていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回防災訓練。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・内部研修、外部研修。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・重要事項説明書にて同意を得ている。 ・課題として必要がある場合は、個別支援計画に記載し、保護者と共有し同意を得ている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者に確認をし、対応している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・報告書の提出